

市政情報

相談の案内

求人・募集
中央図書館

案内
スポーツ

発表・鑑賞

催し
セミナー

健康

公民館

高齢者
福祉

子育て

コラム

ニュース



意外と知らない

体の話

川西市医師会ホームページ
http://www.kawamed.or.jp/indexpc.html

自宅で過ごしたいが7割

あなたは最期の時をどこで過ごしたいですか。

厚生労働省が行った調査では、約7割の人が自宅で最期を迎えたいという希望がありました。しかし、実際に家で最期を迎えることができたのは、2019年の統計で14%程度に過ぎません。

1950年ごろは、8割の人が家で亡くなっていましたが、だんだん病院で亡くなる人が増えてきて、今では逆に8割の人が病院で亡くなっているのです。

多くの人が自宅で過ごしたいと思いつつ、それをかなえられていないのが現状です。

最終的に自宅以外で最期を迎えることを希望した理由としては、「家族に介護の負担を掛けたくないから」が一番多かったようです。

自分の気持ちを前提に考える

確かに、自分の体が弱ってきたら家族に迷惑を掛けるのではないかと、という気持ちはよく分かります。しかし、最期を住み慣れた自宅で過ごしたいと願う人を支えるサービスはたくさんあります。介護サービスや在宅医療などを上手に利用すれば、家族の介護負担を減らしながら家で過ごすことは十分可能です。

普段から家族とも話をしておくことをおすすめします。何よりも、まずは「あなたが」どこで最期の時間を過ごしたいかから考えてみてはいかがでしょうか。

(市医師会 上野圭介)

最期の時を過ごす場所

7月健康カレンダー

保健センター ☎(758)4721 色のついている検(健)診は、1年度に1回の受診です。

項目	対象	日	受付時間	内容
半日人間ドック ※オプション検査あり	18歳以上	月・火曜日	9:00~9:30	14日前までに予約。 市内3万4,800円、市外3万8,800円
一般健康診査① 健康保険証持参	18~39歳	火・金曜日	12:45~14:45	問診、診察、身体計測、血液検査、尿検査。一般健康診査は1,000円、特定健康診査は医療保険者が定める負担額(予約制)。 ※特定健康診査の心電図・眼底検査は、医師の指示などにより実施。
特定健康診査 受診券、健康保険証持参	40(※)~74歳 ※5年3月31日までに40歳に達する人	※第1・3・5火曜日は無料歯科健診・相談あり。	※特定健康診査は受診券(医療保険者が発行)が届いてから予約。	
後期高齢者健康診査 後期高齢者医療被保険者証持参	75歳以上など(65~74歳の後期高齢者医療被保険者を含む)	※65歳以上の人はオーラルフレイルチェック(口の乾燥度など)を実施。		
肝炎ウイルス検診①	40歳以上の未受診者など			血液検査など。予約制。1,000円
前立腺がん検診②	50歳以上の男性			胸部X線撮影など。予約制。500円
肺がん検診①②	40歳以上			胸部X線撮影など。予約制
結核検診	65歳以上			
胃がん検診①②	35歳以上	金曜日	9:00~10:45	胃部X線撮影など。予約制。1,000円
大腸がん検診①②	40歳以上	月~金曜日	9:00~17:00	直接センターへ。500円
子宮頸がん検診①②	20歳以上の女性	水曜日	13:15~14:15	細胞診など。予約制。1,000円
骨粗しょう症検診	40歳以上の女性	水曜日	13:00~14:15	X線(デキサ法)検査、栄養相談。予約制。1,000円
乳がん検診①②	40歳以上の女性	木曜日(月2回程度)	9:00~10:30 13:00~14:30	乳房X線検査など。予約制(隔年度受診)。1,000円

*胃がん(バリウム)検診は、令和3年11月1日から4年3月31日までに胃がん(内視鏡)検診を受診した人は受診できません。
*乳がん検診は隔年度受診のため、令和3年4月1日から4年3月31日までに受診した人は受診できません。
*「半日人間ドック」は、40歳以上の市国民健康保険加入市民、75歳以上などの後期高齢者医療被保険加入市民には、料金の一部助成制度があります。予約時に助成の手続きを確認してください(オプション検査は助成対象外)。
※オプション検査の内容=胸部CT撮影検査1万1,000円、胃カメラ検査3,000円、骨密度検査1,000円(別途料金がかかります)。
①=世帯全員が市税非課税の人、生活保護世帯、70歳以上などの人は無料になります。予約時に申し出てください。
②=40歳以上の市国民健康保険加入市民は、無料になります(前立腺がん検診は50~74歳)。健康保険証を持参。

項目	対象	日	受付時間	内容
健康相談会	保健センターの一般・特定・後期高齢者健康診査を受けた人	8日(金) 7日(木)・19日(火)	午前(予約時に決定) 午後(予約時に決定)	予約制。健診結果に基づき生活習慣を振り返り、生活習慣病予防のために保健師・管理栄養士などが改善に向けて支援します

予防歯科センター ☎(759)3171

項目	対象	日	受付時間	内容
歯科相談	希望者	28日(木)	13:30~14:00	口の健康・治療などの相談。予約制

救急・休日診療(いずれも応急診療のみ)

施設名	診療科目	受付時間
応急診療所(保健センター) ☎(759)8711	内科 (15歳以上、中学生は除く)	日曜日・祝日・年末年始(12/30~1/3) 10:00~11:30、13:00~16:30
ふれあい歯科診療所(キセラ川西プラザ2階) ☎(758)7388	歯科	日曜日・祝日・年末年始(12/30~1/3) 10:00~12:30
休日夜間急病診療所(尼崎市水堂町3-15-20) ☎06(6436)8701	眼科・耳鼻咽喉科	日曜日・祝日 9:00~16:00 年末年始(12/29~1/3) 9:00~翌朝5:30 土曜日 18:00~20:30(耳鼻咽喉科のみ)

ふれあい歯科診療所での歯科診療など(予約は電話または窓口) ☎(758)7388

事業名	日	受付時間	対象者
要介護高齢者歯科診療	木・土曜日	13:00~16:00	65歳以上の要介護者
障がい者(児)歯科診療	水・金曜日	13:00~16:00	一般の歯科医院での治療が困難な障がい者(児)

泉伊丹健康福祉事務所(各窓口で電話で予約が必要)

項目	対象	日	受付時間	内容
こころのケア相談 ☎(785)7874	希望者	28日(木)	14:00~15:30	精神科医師による心の相談
エイズなど相談 ☎(785)2371	希望者	7・21日(木)	13:15~14:00	エイズ、肝炎(B型、C型)検査
専門栄養相談 ☎(785)7861	希望者	25日(月)	13:30~15:30	難病・慢性疾患などの栄養食事相談
アルコール相談 ☎(785)7874	希望者	なし		精神保健福祉士による相談

市役所へは〒666-8501と課名で郵送できます。料金表示のないものは無料。記載がない場合、主催・主体は市で、受付時間は各施設の執務時間中、市外局番は072です。

記号の意味 主催・主体 日時 場所 対象 講師 内容 種別 費用 定員 その他
印 申し込み 郵便 電話 ファクス ウェブ・アプリ E-mail 窓口のみ 先着順 定員超過の場合は抽選 問い合わせ 電話番号 Faxファクス番号 ウェブ・アプリ E-mail

健康

歯と口の健康セミナー

テーマは「歯科矯正ってどんな治療?知っておきたい矯正治療のポイント」。
7月28日(木)午前10時~11時15分
予防歯科センター
市歯科医師会の加藤秀一さん
15人
申込 ☎7月1日(金)から同センターへ
☎(759)3171

保健センター
☎(758)4721

【夏季献血キャンペーン】
7月2日(土)午前10時半~午後0時半、1時45分~4時・川西阪急北側。16日(土)午前10時10分~正午、午後1時15分~4時・トナリエ清和台。24日(日)午前10時10分~正午、午後1時15分~4時・イズミヤ多田店

【歯科健診】
7月5日(火)・19日(火)。いずれも午後1時半~2時20分
保健センター
18歳以上
むし歯や歯肉の検診。65歳以上の人は、オーラルフレイル

ルチェック(口の機能の衰えなど)を実施

【保健相談】
7月7日(木)、8月4日(木)。いずれも午後1時半~3時
総合センター
内 血圧測定と健康相談
【がん講演会】
7月21日(木)午後2時~3時
場 キセラ川西プラザ2階
講 大阪大学大学院教授の竹原徹郎さん
内 肝臓がんの最近の話題
定 30人
申 ☎7月1日(金)から市ホームページの申し込みフォーム(下の2次元コードからアクセス可)へ

【健康運動体験教室】
7月21日(木)午後1時20分~3時半
場 予防歯科センター
対 医師に運動を禁止されていない人
内 講話と着座でのリズム体操など
定 15人
申 ☎随時受け付け
【生活習慣病予防教室】
テーマは「糖尿病とおとなの歯と口の健康」。



7月25日(月)午後1時20分~3時

場 保健センター
内 簡単な病態の説明や食事療法について
定 15人
申 ☎随時受け付け
【ティーンズ料理教室】
8月4日(木)午前10時~午後1時
場 キセラ川西プラザ2階
対 中学1~高校1年生
内 思春期の健康的な食生活についてのミニ講座と調理実習
費 400円
定 8人
申 ☎7月1日(金)からホームページ「骨髄ドナー事業」

【骨髄ドナー事業】
3年4月以降に骨髄などを提供した人に、検査や提供にかかった日数につき2万円(上限10日間)を助成。
対象は、提供した日に市に、申請時に県に住民票がある人。
提供後1年以内に保健センターで申請が必要です。
【不妊治療のペア検査費用を一部助成】
夫婦(事実婚を含む)で受けた一般不妊治療のために必要な検査費用のうち、

子宮頸がん予防のワクチン接種

問い合わせ 保健センター ☎(758)4721

国の方針で、子宮頸がん予防(HPV)ワクチン接種の積極的勧奨が再開されました。定期接種とキャッチアップ接種(積極的勧奨の差し控えにより定期接種の機会を逃した人への接種)の対象者へ、予診票を同封した案内を4年5月下旬に送付しています。案内に記載の注意事項を確認の上、接種してください。

【定期接種】

対象者:平成18年4月2日~23年4月1日生まれの女性(小学6年生~高校1年生相当)

【キャッチアップ接種】

対象者:平成9年4月2日~18年4月1日生まれの女性

キャッチアップ接種対象者で、すでに自費で任意接種した人へ

4年3月31日までに国内で自費で任意接種し、4月1日時点で市に住民登録がある人に対し、予防接種費用を助成。領収書と接種したことが分かるもの(母子健康手帳や接種済み証明書など)が必要。申請・請求期限は7年3月31日です。詳しくは、市ホームページへ。



医療保険適用外の検査費用の7割を助成(夫婦1組1回限り)。
申し込み方法など、詳しくは市ホームページへ。
①~④全てを満たす夫

婦。①どちらかが市内在住②初診日における妻の年齢が43歳未満③令和3年4月1日以降にどちらか不妊の検査を受けている④他自治体から同様の助成を受けていない